

パスポート、運転免許証、氏名が異なるのに 同一人物？

——英語圏では、公式文書でもそれぞれの自分の
氏名（誕生名）が一貫していない——

大 島 直 樹 ・ Jim Chapman

まえがき

英語圏では、名前（姓ではない方。以後、誕生名と記すこととする）とその別の呼び名（以後、派生名と記すこととする）が、公式文書においてすら日常的に交互に表記されている。例えば、出生証明書の中では Robert となっている人物が、一方、運転免許証やクレジットカードの中では Bob という名前になっていたりすることがある。

本稿では、このようなよく見かけるパターン（誕生名とその派生名のパターン）の実際の例をいくつかとりあげ、さらに小説の中からも同じような例をピックアップして、誕生名とその派生名の頻繁な交互使用の実態を例証していく。本稿で取り上げた誕生名とその派生名の交互使用パターンは、北アメリカ、オーストラリア、カナダ、イングランド、ウェールズ等主要英語圏において実際普通に見られるものではあるが、日本人にはこれを英語圏での常識と理解してもらおうと共に要らぬ誤解（文化摩擦）を避けることが本稿のねらいである。

序 論

誕生後につけられる名前は、その使用法において日本と英語圏では随分異なっている。日本では、出生届けをされた誕生名が公式書類（例えばパスポート、銀行の通帳等、自動車運転免許証等）の氏名欄に載っているのが当たり前のことである。しかし英語圏では誕生名のみならず派生名の使用もかなり見られるのである。派生名は一般に知れ渡っているので、公式書類上の Bill が William 本人を指しているなんていうことは誰にも容易にわかるのである。だから誕

生名が William でも公式文書の中で時には Bill という派生名を使用できるのである。公式文書中に誕生名以外の名前を普通は表記しない日本人にとっては、このことが大変な混乱の元となるのは明らかである。

本稿の目的は、英語圏における名前のパターン（誕生名とその派生名のパターン、Robert / Bob）の調査を行い、このパターンが英語圏において実際に使用されている例を提示しながら、どの程度にまで誕生名とその派生名が交替で使用されているのかの実態を探ることである。さらに、現代小説の中でもこのパターンがどう現れているかを調査し、これを現実と比較することにより小説中のパターンが作家の勝手な虚構ではないことを示すことで、このパターンが英語圏全般に共通するものであることの傍証としたい。

Table 1 は一般的な誕生名とその派生名のリストである。ニックネームについては本稿では議論の対象としないことをお断りする。公式文書で使用するには略式すぎていて不適当な名前だからである。ケンブリッジ辞典の定義はこうなっている。「ある人物、ある物に対して打ち解けた気持ちでつけられた名前。特に、友達、家族によって通常その人の名前や性格を基につけられた名前」。

Given Name	Common Derivative 1	Common Derivative 2
John	Jack	Johnny
Robert	Rob	Robby
Daniel	Dan	
Benjamin	Ben	
Anthony	Tony	
Edward	Ed	Eddie
William	Bill	Will
James	Jim	Jimmy

Table 1: Eight common given names/derivative patterns

Table 1 には、全部ではないが英語圏において交互に使用される誕生名とその派生名の 8 個のパターンが挙げられている。誕生名がそれぞれ派生名と交互に使用可能で、正式に登録も出来るということを本稿で論じる。

本 論

I. 誕生名の付け方

I.1 日本社会において

日本人の子供は生まれて名前を登記するとき、1語か2語以上の漢字・ひらがな・カタカナを用いる。その際、漢字なら字画数とか意味が命名の重要な要素となる。両親のうちどちらかが欧米人の場合、名前にハイフンが挿入されていたりミドルネームを加えることもあるが、正式に役所に登記するときは1語の誕生名となる。

I.2 英語圏において

赤ん坊には通常1つか2つミドルネームがつけられるが、登録名がミドルネームのないJamesであっても親の勝手にJimとして他人に紹介されることがある。

II. 誕生名とその派生名が交互に使用される具体例

次に挙げる例は同一人物に関する2点の公式文書であるが、一方では誕生名がもう一方ではその派生名が記載されている。日本人には別人のように受け取れるが、英語圏では二人が同一人物であることが一般に通用するだけでなく、本人確認のための証明書としてこれを国境警備員・裁判官・警官に見せてもなんら疑われることはないのである。

II.1 具体例その1

William H Cosby Jr. は Bill Cosby として一般に名前を知られている有名なアメリカの喜劇役者である。次の2枚のコピーは、1枚目には William、2枚目には Bill として彼の名前が載っている裁判記録資料である。この場合、誕生名の William と派生名の Bill が別人のようにとられるが同一人物を指している。

IN THE UNITED STATES DISTRICT COURT
FOR THE EASTERN DISTRICT OF PENNSYLVANIA

ANDREA CONSTAND, :
Plaintiff : CIVIL ACTION
 :
 : NO. 05-CV-
 :
 WILLIAM H. COSBY, JR., : JURY TRIAL DEMANDED
Defendant :

COMPLAINT

Plaintiff Andrea Constand, by her attorneys,
Troiani/Kivitz, L.L.P., claims of Defendant a sum in excess of
\$150,000.00, and in support thereof states the following:

A. Jurisdiction and Venue

1. The United States District Court for the Eastern
District of Pennsylvania has jurisdiction over this action
pursuant to diversity of citizenship and amount in
controversy, 28 U.S.C. § 1332.

2. Venue lies in the Eastern District of Pennsylvania
pursuant to 28 U.S.C. § 1391 in that the events giving rise to
the claim occurred in the Eastern District of Pennsylvania.

Image 1: Constand vs. Cosby Page 1

27. Following Plaintiff's January 13, 2005, police report, Defendant and his authorized representatives and/or agents have made publicized statements to the media, including, Celebrity Justice ("CJ"), which have included:

Sources connected with Bill Cosby tell "CJ" that before his accuser went to police, her mother asked the comedian to make things right with money...We're told she asked Cosby to help pay for her daughter's education and to generally help her out financially, and this conversation occurred before the accuser ever contacted police...As police continue to investigate, a Cosby rep call [sic] this a classic shakedown.

These particular statements were broadcast nationwide, and posted on Celebrity Justice's internet website, also available nationwide, on February 7, 2005.

28. Celebrity Justice, The Toronto Sun, and FoxNews, among other media sources, had previously printed and/or aired Plaintiff's name and address and/or picture in connection with this investigation, and other media sources had published her name and/or a picture of Plaintiff as well, therefore making her identity as Cosby's accuser recognizable to the public.

29. On or about February 21, 2005, Defendant gave an "exclusive" interview to The Enquirer, a national tabloid with a circulation of about 1.5 million, concerning Plaintiff's allegations. In that interview, in an effort to continue to make the public believe that Plaintiff was guilty of extortion,

II.2 具体例その2

次に掲げるのは本稿筆者の一人が所有している公式文書3点のコピーである。Image 3は、カナダのオンタリオ州の本人の出生証明書のコピーで、Chapman, James Fと記載されていてその誕生名はJamesである。Image 4は本人のパスポートのコピーで、名前はChapman Jim Fとなっていてここでは派生名のJimが載っている。そしてImage 5は、本人の自動車運転免許証のコピーであるが、ここには誕生名Jamesと派生名Jimの両方の名前が一枚の中に記載されている。印刷の誕生名がJAMESであるのに、本人はJimという派生名で署名をしているのである。

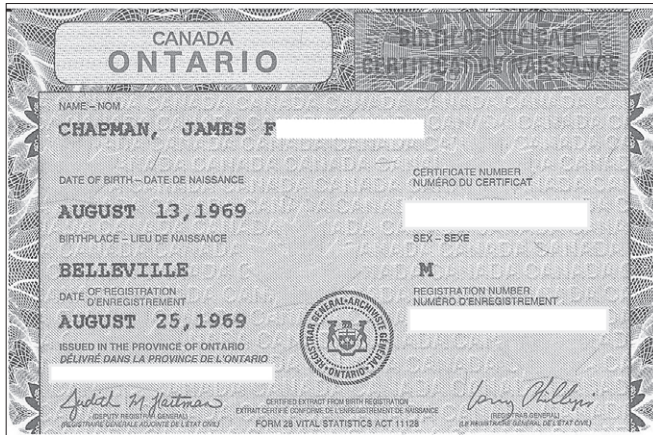


Image 3: Chapman, James F. Ontario Birth Certificate scan



Image 4: Chapman, Jim F., Passport scan

パスポート、運転免許証、氏名が異なるのに同一人物？



Image 5: Chapman, James F./Jim Chapman, Driver's License scan

3点共に誕生日と誕生日が同一であることは当然のことであるが、注目すべきことは、これらが本人確認の書類として今まで何も問題がなかったし、また現在も通用しているという点である。つまり、誕生名を使っても派生名を使っても構わないということである。

II.3 現代文学作品（小説）からの具体例

Aljohani & Al-Ghamdi (2003) は次のように述べている。「文学は現実世界の模写である。言い換えれば、それは、現実、自然、もしくは実体の有様である」。この前提に基づけば、誕生名とその派生名の実際のパターンを調べるのに、現代小説はかっこうの資料と考えられる。そこで本稿では、アメリカのある連続小説をとりあげ、登場人物がどのような誕生名と派生名のパターンで描かれているのかをみていく。

II.3.1 Tom Clancy (アメリカ人作家) の小説

彼は1947年メリーランド州ボルチモア生まれのアメリカ人作家で、多くのヒット作品をこの世に出している。ジャンルはハイテク、スリラー、スパイ物で、30以上ある彼の作品のうち多くがハリウッド映画として人気を博している。中でも、*The Hunt for Red October*, *Patriot Games*, *The Sum of All Fears* が有名である。

彼の多くの作品中には、ジョン・パトリック・ライアンが主役で登場している。連続小説の最初のところでライアンは歴史の先生として登場しているが、シリーズ14冊目ではアメリカの大統領にのぼりつめている。大統領になってからも公私にわたる彼の交遊関係は、誕生名やその派生名が公式非公式を問わず色々な場面においてどのように使用されているかを探るかっこうな手掛かりを与えてくれる。アメリカで一般的に見られるパターン（誕生名とその派生名

のパターン) の具体例がいくつか出てくる点で、この小説が参考になることは改めて言うまでもない。

本稿で扱う作品は、*Debt of Honor* (1994) (以後、DOH と記す)、*Executive Orders* (1996) (以後、EO)、*The Bear and the Dragon* (2000) (BD) 3編である。ここでは、主人公であるライアンが大統領になるまでと、なってからの様子が克明に描かれている。従って、副大統領、大統領としてのライアンの地位は、極めて公式な場面からかなり非公式な場面にいたるまで本稿調査にとって非常に興味深い対話を提供してくれる。この3編の作品の詳細な調査により、アメリカでの誕生名とその派生名のパターンがより鮮明に見えてくるのは明らかである。

小説中の主な登場人物9名の誕生名およびその派生名は Table 2 のようになった。役職と共どの作品の何ページに登場したかも記しておいた。

Case	Given Name	Character	Position	Deriv. 1	Deriv. 2	Deriv. 3
1	John	John Patrick Ryan DOH pg. 989	President of the United States	Jack EO pg. 906		
2	Caroline	Caroline M Ryan DOH pg. 15	Ryan's wife	Cathy EO pg. 1245		
3	Robert	Robert Jefferson Jackson BD pg. 22	Vice President of the United States	Robby EO pg.9	Robert BD pg.445	Rob EO pg.852
4	Daniel	Daniel E. Murray DOH pg. 316	Director of the FBI	Dan DOH pg. 115		
5	Benjamin	Dr. Benjamin Goodley BD pg. 64	National Security Advisor	Ben BD pg. 22		
6	Anthony	Anthony Brettano BD pg. 58	Secretary of Defence	Tony BD pg. 209		
7	Edward	Edward Foley DOH pg. 525	Director of CIA	Ed BD pg. 160	Eddie BD pg. 159	
8	William	William Shaw DOH pg.340	Director FBI	Bill DOH pg.116		
9	James	James Greer EO pg.105	Admiral	Jim EO pg. 263		

Table 2: Character names and derivations used in the novels

II. 3. 2 Table 2の各登場人物の名前のパターンの補足説明と北アメリカにおけるその実例について

II. 3. 2. 1 John の例

John Patrick Ryan は小説中では主役として登場し、ごく公式の場面以外で家族、友達、顧問から Jack と呼ばれている。

John / Jack の実例には前アメリカ大統領の John Fitzgerald Kennedy があり、彼は Jack とも呼ばれている。JFK 図書館のウェブサイト上に見られる以下の引用文が参考となる。

Born on May 29, 1917, John Fitzgerald Kennedy was named in honor of his maternal grandfather, John Francis Fitzgerald, the Boston mayor popularly known as Honey Fitz. Before long, family and friends called this small blue-eyed baby “Jack.” (“Life of John F. Kennedy”, n.d.)

II. 3. 2. 2 Caroline の例

小説中の Caroline M. Ryan (旧姓は Muller) は大統領 Jack Ryan の妻すなわちファーストレイディで、友人や顧問からは Cathy と呼ばれている (Caroline / Cathy の実例は省く)。

II. 3. 2. 3 Robert の例

小説内で、Robert Jefferson Jackson (アメリカ副大統領) は Jack Ryan と長年の親友でもあり、皆から Rob とか Robby と呼ばれている。最も興味深いのは、Jackson が父親に電話で叱られている時、Robert と名前を呼ばれることである (BD, p. 445)。親が子供に叱る時には、このように派生名ではなく誕生名で呼ぶのである。

Robert の派生名の実例としては、Rob, Bob, Robby, Bobby などがある。アメリカの喜劇俳優 Billy Crystal が Robert の派生名についておもしろいことを言っている。それは、アメリカ映画協会の Lifetime Achievement Award で Robert De Niro を表彰するディナーパーティの中で次のように語られている。

「彼を何と呼んだらいいかな？ まず Robert De Niro が浮かぶ。とても丁寧で無難な呼び方だ。次に浮かぶのが Bob De Niro だ。この呼び方は彼と親交のある友達にぴったりだ。それから Bobby De Niro という呼び方があるが、これは面識のない映画会社の重役向きだ」(Horovitz, 2003)

Robert が派生名として Bobby と呼ばれる他の実例には、Robert Kennedy がある。彼は Kennedy 専用のウェブサイトの最初の頁に、Bobby Kennedy と何回も載せている。(Robert F.

Kennedy; <http://bobby-kennedy.com>)

II. 3. 2. 4 Daniel の例

小説の中で Daniel E. Murray は FBI の長官として前掲三作すべてに登場し、Ryan や他の上役からいつも Dan と呼ばれている。

Daniel の実例としては、Dan Marino (マイアミ・ドルフィンズの前アメリカンフットボール名選手) を挙げることができる。彼の財団のウェブサイト上では Daniel Marino-Chairman としてリストに載っているのに、その見出しには“Welcome to the Dan Marino Foundation”; http://www.danmarinofoundation.org/public_info. となっている。

さらに実例を挙げると、前 CBC のニュースキャスターとして名高い Daniel Irvin Rather Jr. がいる。彼は夜のニュース番組で、1981年から2005年まで“The CBC Evening News with Dan Rather”というタイトルで実際に放送していた。

II. 3. 2. 5 Benjamin の例

小説内で Dr. Benjamin Goodley は、Ryan や他の登場人物から何度も Ben と呼ばれている。

実例としては、アメリカの発明家 Benjamin Franklin とアメリカ第23代大統領の Benjamin Harrison が挙げられる。Benjamin Franklin は、ウェブサイトにリンクすると、Citizen Ben と呼ばれていることがわかる (http://www.pbs.org/benfranklin/12_citizen.html)。

Benjamin Harrison については、ホワイトハウスのウェブサイト上に次の引用文を載せている。

「彼は身長がほんの5フィート6インチのため、民主党員は彼のことを Little Ben と呼んだ。一方、共和党員は彼のことを、祖父の帽子がかぶれるくらい大きいと応えた。」(Benjamin Harrison, n.d. (出版年不明))

II. 3. 2. 6 Anthony の例

小説中で、Anthony Brettano は Ryan の友人で国務長官であるが、彼はホワイトハウス内で大統領や高級官僚から Tony と呼ばれている。

実在の例としては Anthony Charles Linton Blair を挙げることができる。実は、彼はイギリスの前首相 Tony Blair で、ウェブサイト <http://www.tonyblairoffice.org>. により検索が可能である。彼は自分の財団の Tony Blair Faith Foundation や Tony Blair Sports Foundation の名称をつける文章の中で、自分のことをはっきりと Tony として紹介している。また、ホームページに彼の署名のコピーが載っていて、そこでは Anthony Blair ではなく Tony Blair となっている。

他に実例を挙げると、名演説家として世界的に知られている企業家 Anthony Robbins がいる。ウェブサイトの <http://www.tonyrobbins.com/index.php> で検索すると、彼が Anthony と Tony のそれぞれの名前で掲載されていることが分かる。

II. 3. 2. 7 Edward の例

小説の中で Edward Foley は、CIA の長官として夫人と一緒に働いている。ホワイトハウスでは Ryan や側近から Ed と呼ばれているが、ふざけている時は夫人から Eddie と呼ばれる。

実在の例としては、Edward Regan Murphy というアメリカの俳優が挙げられるが、彼は、通常ファンには Eddie Murphy という名前で通っているコメディアン、俳優、兼プロデューサーである。

もう一人実在人物を挙げるなら、Edward Vincent Sullivan がいる。彼は1948年から1971年までアメリカの人気バラエティショーの司会を務めていた。この番組はもともと Toast of the Town という名で始まったが、1955年からはそのタイトルが The Ed Sullivan Show にかわった。

II. 3. 2. 8 William の例

小説の中で、FBI 長官の William Shaw は Ryan やその側近と絶えず連絡をとりあっている。すべての場面で彼は Bill と呼ばれているが、初登場の時だけ克蘭シーから William Shaw という名前で紹介されている (DOH p. 340)。

William / Bill のパターンの実例はたくさん見られる。William Henry Gates はマイクロソフト社の創始者であるが、彼は Bill Gates の名で知られている。会社のウェブサイトには Bill と William の名前が載っているが、彼の慈善財団名は Bill & Melinda Gates となっている (<http://www.microsoft.com>)。

他の実例は William Jefferson Clinton (前アメリカ大統領) で、Bill Clinton としてよく知られている (<http://www.whitehouse.gov/about/presidents/williamjclinton>)。さらに実例を加えると、Clinton 夫人 Hillary Clinton は、CBS テレビの George Stephanopoulos からインタビューを受けている時、インタビュアーが President Clinton と言っているのに、夫のことを Bill と呼んでいた。

STEPHANOPOULOS: ... President Clinton...

CLINTON: ... secretary general asked Bill to be the special envoy. So we're really going to have a united effort by our government and by the international community. Those are just some of the, you know, very specific and more general challenges that we are taking on and

managing.

(“Transcript: Secretary of State Hillary Clinton on ‘This Week’”, 2009) Source: *www.abcnews.go.com*

II. 3. 2. 9 James の例

小説中で海軍司令官 James Greer は、指導教官として Ryan に CIA に入るためのアドバイスをしている。そのため相当親密な仲の Ryan から彼はいたるところで Jim と呼ばれている。

このような誕生名 James が派生名 Jim や Jimmy で呼ばれるパターンはかなり一般的なものである。実在人物の例としては、第39代アメリカ大統領の James Earl Carter Jr. が挙げられる。彼は Jimmy Carter としての方がもっと名前が通っていて、ホワイトハウスのウェブサイトには James と Jimmy の両方の名前が掲載されている。

Jimmy Carter aspired to make Government “competent and compassionate,” responsive to the American people and their expectations. [...]. Carter, who has rarely used his full name—James Earl Carter, Jr.—was born October 1, 1924, in Plains, Georgia. The Carters have three sons, John William (Jack), James Earl III (Chip), Donnel Jeffrey (Jeff), and a daughter, Amy Lynn. (“James Carter”, n.d.)

Carter は公共の政策を扱うカーターセンター財団を創設したが、その創設者の紹介文には James と Jimmy の両名が交互に出てくる (http://www.cartercenter.org/news/experts/jimmy_carter.html)。

もうひとつ有名な実在人物の例を挙げる。James Dean は、*East of Eden* (エデンの東) や *Rebel without a Cause* (理由なき反抗) で一躍有名になったアメリカ映画の偶像的存在ともいえる俳優であるが、彼は一方 Jimmy Dean という名前でも知られている。彼はほんの3作品しか出演していないが、James Dean と Jimmy Dean は共に映画史上に残る名前として今も人々の記憶の中に生きている。

II. 4 小説に登場する誕生名の妥当性について

小説の中では、著者が気まま勝手に登場人物に命名する 경우가多々ある。従って、本稿の参考資料として取り上げたトムクランシー作のライアンシリーズ中の登場人物名が、現在普通に使われている名前であることを証明しておく必要がある。これを裏付けるために次の二つの調査を行う。

- 1) 小説中に現れる名前（誕生名）と現実に北アメリカで使用されている名前（誕生名）の比較調査
- 2) 上の1) で調査した名前（誕生名）と他の英語圏で使用されている名前（誕生名）の比較調査

II. 4. 1の調査

最初の資料 Table 3は、小説登場人物9名と、1994年の北アメリカ国勢調査による名前人気度の順位である。そして巻末の Appendix(付表) 1は、1994年の北アメリカにおいてもっとも人気のある女性名のリストである。小説中の Ryan の妻 Caroline については、巻末付表 1 から42番目に人気の高い女性名であることがわかる。巻末の Appendix(付表) 2は1994年の北アメリカでの国勢調査によるデータで、その年にもっとも人気の高かった男性名上位50名が載っているリストである。本稿で取り上げた男性8名のうち7名までが50位内で、しかも5名は12位内、3名は1, 2, 3位を独占している。Table 3中 Benjamin だけが付表2の上位50外だったもののそれでも66位の人気であった。以上のデータから、この小説に登場する名前（誕生名）が過去25年にわたる北アメリカの実際の名前を反映していることは明らかである。

Case	Given Name	Census Rank
1	John	2
2	Caroline	NA
3	Robert	3
4	Daniel	12
5	Benjamin	66
6	Anthony	22
7	Edward	19
8	William	5
9	James	1

Table 3: Male given names and their Census ranks (1994)

II. 4. 2の調査

他の英語圏すなわちカナダ、オーストラリア、イングランド、ウェールズとの名前を比較することにより、これらが全英語圏に共通するものであることを証明したい。

まず、カナダ、オーストラリア、イングランド、ウェールズにおける人気上位50の誕生名の調査を行い、過去25年間の各国間の相関関係を見る。Table 4は北アメリカと他の英語圏における誕生名人気度を示すリストである。ただし、Table 4を表示するにあたり以下の2点において調査資料として厳密さを欠くことをお断りする。

- 1) このデータは各国発表による公式資料に基づくものではなく、ウェブサイトから得たも

なのでやや正確性に欠けるかもしれないこと。

- 2) 入手データの年月がまちまちになっていること。北アメリカは1994年、カナダ、オーストラリア、イングランド、ウェールズは1998年。

以上の問題点はあるが、英語圏の誕生名には著しい共通性があることが次の2点として見られた。

- 1) 北アメリカの表中、人気度トップ25の名前全部がカナダのトップ40に入っていた。

- 2) 北アメリカ人気度トップ25の名前の88%が少なくとも他の3国のリストに載っていた。

以上のデータにより、英語圏全体で誕生名に共通性があり、従って、本稿で取り上げた小説中の登場人物の名前が英語圏全体において共通性が見られることが証明された。

US (1994)	Canada (1998)	Australia (1998)	England and Wales (1998)
1. <u>Michael</u>	1. <u>Matthew</u>	1. Joshua	1. Jack
2. <u>Christopher</u>	2. <u>Joshua</u>	2. Jack	2. Thomas
3. <u>Matthew</u>	3. <u>Nicholas</u>	3. Lachlan	3. <u>James</u>
4. <u>Joshua</u>	4. <u>Ryan</u>	4. Matthew	4. <u>Daniel</u>
5. Tyler **	5. <u>Alexander</u>	5. Daniel	5. <u>Joshua</u>
6. <u>Brandon</u>	6. Tyler **	6. Thomas	6. <u>Matthew</u>
7. <u>Jacob</u>	7. <u>Michael</u>	7. James	7. Samuel
8. <u>Daniel</u>	8. <u>Brandon</u>	8. Nicholas *	8. Callum
9. <u>Nicholas</u> *	8. <u>Jacob</u>	9. Benjamin	9. <u>Joseph</u>
10. <u>Andrew</u>	9. <u>Kyle</u>	10. William	10. Jordan
11. <u>Joseph</u>	10. Jordan	11. Luke	11. Connor
12. <u>David</u>	11. Liam	12. Liam	12. <u>Ryan</u>
13. <u>Zachary</u> *	12. Justin @	13. Jordan	13. Luke
14. <u>James</u>	13. <u>Christopher</u>	14. Michael	14. <u>William</u>
15. <u>John</u> *	14. Austin @	15. Samuel	15. Harry
16. <u>Ryan</u>	15. <u>Daniel</u>	16. Jacob	16. Benjamin
17. Austin **	16. Benjamin	17. <u>Alexander</u>	17. George
18. <u>Anthony</u> *	17. Noah	18. Jake	18. Lewis
19. <u>William</u>	18. <u>Andrew</u>	19. Mitchell	19. <u>Alexander</u>
20. Justin **	19. Dylan	20. <u>Ryan</u>	20. Oliver
21. Robert @@	20. <u>William</u>	21. Dylan	21. Adam
22. <u>Alexander</u>	21. <u>James</u>	22. Nathan	22. Jake
23. Jonathan @@	21. <u>Nathan</u>	23. <u>Christopher</u>	23. Liam
24. Kevin **	22. <u>David</u>	24. Jayden	24. <u>Michael</u>
25. <u>Kyle</u> *	23. Connor	25. <u>Andrew</u>	25. Nathan

パスポート、運転免許証、氏名が異なるのに同一人物？

26.Cody	24.Adam	26.Adam	26.Kieran
27.Jose	24.Ethan	27. <u>Kyle</u> *	27. <u>Jacob</u>
28.Thomas	25.Cameron	28.Blake	28.Ben
29.Aaron	26. <u>Zachary</u>	29.Connor	29.Cameron
30.Jordan	27.Samuel	30. <u>Zachary</u> *	30.Aaron
31.Eric	28.Kevin **	31.Cameron	31.Bradley
32.Christian	29.Cole	32.Harrison	32. <u>Christopher</u>
33.Benjamin	30.Riley	33.Patrick	33.Charlie
34.Dylan	31.Thomas	34.Ethan	34.Mohammed
35.Samuel	32.Jonathan @@	35. <u>Brandon</u>	35.Jamie
36.Steven	33.Spencer	36. <u>Anthony</u>	36. <u>Brandon</u>
37.Brian	34.Eric	37.Bradley	37.Robert @@
38.Adam	35. <u>Joseph</u>	38.Jackson	38. <u>Kyle</u>
39.Timothy	36.Jason	39. <u>Joseph</u>	39. <u>David</u>
40.Nathan	36. <u>John</u>	40.Aaron	40. <u>Andrew</u>
41.Richard	37.Evan	41.Jesse	41.Charles
42.Patrick	38.Jared	42.Hayden	42.Reece
43.Luis	38.Mitchell	43. <u>David</u>	43.Edward
44.Charles	38.Sean	44.Bailey	44.Owen
45.Juan	39.Brendan	45. <u>John</u> *	45.Alex
46.Sean	39.Robert **	46.Jason	46.Dylan
47.Jesse	40. <u>Anthony</u>	47.Timothy	47.Ethan
48.Jason	40.Lucas	48.Angus	48.Jonathan @@
49.Jeremy	41.Cody	49.Isaac	49.Sam
50.Mark	41.Jeremy	50.Joel	50.Max

Table 4: Most common male birth names by country 1994, 1998

Legend:	
<u>Ryan</u> = on all 4 lists (Top 50)	<u>John</u> * = on 3 lists (not Eng/Wales)
Robert @@ = on 3 lists (not Aus)	<u>Tyler</u> ** = on Can and US lists only

Source: <http://www.thinkbabynames.com/popular/1/us/1994>

II. 4.3 小説中の登場人物の誕生名と派生名のパターンが、他の英語圏の実在人物のそれと同じかどうかの検証

小説に見られた誕生名が現在の英語圏でのものに相違ないことが明らかになった今、もうひとつ検証すべきは、小説中の誕生名／派生名のパターンが北アメリカ以外の英語圏でも一貫性

があるのかどうかということである。

Table 5は、小説の9例の誕生名についてカナダ、オーストラリア、イングランド、ウェールズでその派生名がどう現れているかの実例を示すリストである。他の英語圏においては、Caroline（誕生名）がCathy（派生名）として使用される女性の例は見当たらなかったものの、男性についてはすべて同じ派生名の使用を確認することが出来た。これにより、トムクランシーの小説中の男子の誕生名とその派生名のパターンが、英語圏で実際に使用されている一般的なものであることが完全に立証された。

Case	Given	Derivatives			
	Name	US	Canada	Australia	England/Wales
1	John	<u>Jack</u>	<u>Jack Layton</u> (John Gilbert Layton) Politician * ¹	Sir <u>Jack Brabham</u> (Sir John Arthur Brabham) Racecar driver * ²	<u>Jack Elliot</u> (John Elliot) Welsh Rugby player * ³
2	Caroline	Cathy	NA	NA	NA
3	Robert	<u>Rob</u>	<u>Rob Butler</u> (Robert Frank John Butler) Former pro baseball player * ⁴	<u>Rob Dickson</u> (Robert Dickson) Former pro athlete * ⁵	<u>Rob Brydon</u> (Robert Brydon Jones) Welsh Actor * ⁶
4	Daniel	<u>Dan</u>	<u>Dan Ackroyd</u> (Daniel Edward Ackroyd) Actor * ⁷	<u>Dan Sullivan</u> (Daniel Frank Sullivan) Politician * ⁸	<u>Dan Radcliffe</u> (Daniel Jacob Radcliffe) British Actor * ⁹
5	Benjamin	<u>Ben</u>	<u>Ben Johnson</u> (Benjamin Sinclair Johnson) Infamous sprinter * ¹⁰	<u>Ben Cousins</u> (Benjamin Luke Cousins) Athlete * ¹¹	<u>Ben Cohen</u> (Benjamin Christopher Cohen) British rugby player * ¹²
6	Anthony	<u>Tony</u>	<u>Tony Abbott</u> (Clark Anthony Abbott) Politician * ¹³	<u>Tony Stewart</u> (Anthony Paul Stewart) Politician * ¹⁴	<u>Tony Sheridan</u> (Anthony Esmond Sheridan) British musician * ¹⁵
7	Edward	<u>Ed</u>	<u>Ed Broadbent</u> (John Edward Broadbent) Politician * ¹⁶	<u>Ed Kavalee</u> (Edward Robert Kavalee) Actor * ¹⁷	<u>Ed Westick</u> (Edward Westick) British Actor * ¹⁸
8	William	<u>Bill</u>	<u>Bill Graham</u> (William C. Graham) Politician * ¹⁹	<u>Bill Graham</u> (Bruce William Graham) Politician * ²⁰	<u>Bill Nighy</u> (William Francis Nighy) British actor * ²¹

パスポート、運転免許証、氏名が異なるのに同一人物？

9	James	<u>Jim</u>	<u>Jim Carrey</u> (James Eugene Carrey) Actor/Comedian *22	<u>Jim Simpson</u> (James Brunton Simpson) Politician *23	<u>Jim Broadbent</u> (James Broadbent) British actor *24
---	-------	------------	--	---	--

Table 5: Real name/derivative patterns from the five Western countries

Legend:	
Derivative Family name (Full given name) Occupation	NA—Data not available

- *1 <http://www.nndb.com/people/626/000123257/>
- *2 http://www.jackbrabham.com/news_detail.html?NEWSID=102791
- *3 <http://www.espnscrum.com/wales/rugby/player/1116.html>
- *4 http://en.wikipedia.org/wiki/Rob_Butler
- *5 http://en.wikipedia.org/wiki/Rob_Dickson
- *6 <http://www.imdb.com/name/nm0117339/bio>
- *7 <http://www.imdb.com/name/nm0000101/bio>
- *8 [http://en.wikipedia.org/wiki/Dan_Sullivan_\(politician\)](http://en.wikipedia.org/wiki/Dan_Sullivan_(politician))
- *9 <http://www.imdb.com/name/nm0705356/bio>
- *10 [http://en.wikipedia.org/wiki/Ben_Johnson_\(sprinter\)](http://en.wikipedia.org/wiki/Ben_Johnson_(sprinter))
- *11 <http://www.topendsports.com/sport/afl/profiles/cousins-ben.htm>
- *12 [http://en.wikipedia.org/wiki/Ben_Cohen_\(rugby_player\)](http://en.wikipedia.org/wiki/Ben_Cohen_(rugby_player))
- *13 [http://wpedia.search.goo.ne.jp/enwiki/Tony_Abbott_\(Canadian_politician\)](http://wpedia.search.goo.ne.jp/enwiki/Tony_Abbott_(Canadian_politician))
- *14 [http://wpedia.goo.ne.jp/enwiki/Tony_Stewart_\(Australian_politician\)](http://wpedia.goo.ne.jp/enwiki/Tony_Stewart_(Australian_politician))
- *15 <http://www.friktech.com/btls/tony/tony.htm>
- *16 http://en.wikipedia.org/wiki/Ed_Broadbent
- *17 http://en.wikipedia.org/wiki/Ed_Kavalee
- *18 <http://www.imdb.com/name/nm2067953/>
- *19 <http://english.turkcebilgi.com/Bill+Graham>
- *20 [http://en.wikipedia.org/wiki/Bill_Graham_\(Australian_politician\)](http://en.wikipedia.org/wiki/Bill_Graham_(Australian_politician))
- *21 http://en.wikipedia.org/wiki/Bill_Nighy
- *22 <http://www.imdb.com/name/nm0000120/bio>
- *23 [http://en.wikipedia.org/wiki/James_Simpson_\(Australian_politician\)](http://en.wikipedia.org/wiki/James_Simpson_(Australian_politician))
- *24 http://en.wikipedia.org/wiki/Jim_Broadbent

結 論

本稿は、英語圏において誕生名とその派生名が入れ替わり使用されていて、しかも公式文書の使用の際にもそのいずれかまたは両方の名前が通用しているという事実を論じるものであ

る。

まず、誕生名とその派生名が交互に使われている実在の文書を2点挙げ、その後、文学作品(小説)の中に似たようなパターンがあるかどうかの調査を行った。トムクランシーの小説3編の精査によりこのパターンを踏襲する多くの例を見出すことが出来た。そしていくつかの例について、北アメリカにおける誕生名とその派生名の実際のパターンを有名人を例にして取り上げた。

次に、小説中の登場人物名(誕生名)を1994年のUS出生調査の人気名(派生名)のリストのデータと比較して、これが北アメリカの実際の名前と同じであって決して現実離れしているものではないことを示した。その証拠に、本稿で取り上げた9個の誕生名全部が出生調査リストの人気度100位内に入っていた。男性では88%が上位25位内でそのうち3名がトップ3であった。

さらに、この9個の誕生名がUS以外の英語圏(カナダ、オーストラリア、イングランド、ウェールズ)においても一般的な誕生名なのかどうかを調べた。その結果、USでの1994年の人気度トップ25の誕生名のすべてがカナダのほぼ同時期のトップ40位内に、88%が他の3国(オーストラリア、イングランド、ウェールズ)のほぼ同時期の人気度リストに載っていることがわかり、従って、9個の誕生名すべてが英語圏に共通する一般的なものであることの証拠となった。

最後に、小説で取り上げた9名の誕生名と派生名のパターンがUSだけでなく他の3国の英語圏にも見られる共通のものなのかどうかを調べた。その結果、男性はこのパターンが英語圏全部に共通していることがTable 5により判明した。要するに、英語圏においては、パスポート、裁判に関わる文書、出生証明書、銀行通帳、自動車運転免許証といった公式文書の氏名欄には、姓にそえる名前として誕生名でも、その派生名でも、またその両方でも、いずれの場合も記載が可能で、正式に本人であると確認されるのである。

あとがき

英語圏ではごくあたりまえの事がひとたび外に出ると、それが通用せずトラブルに巻き込まれることが往々にしてある。筆者の一人(来日15年のカナダ人男性)が自分の口座からお金を引き出そうと最寄りの銀行に出かけた時のことである。通帳が外国人登録証明書の名前と一致していないためどうしても本人確認が出来ないと言われ、結局その日はやむなく帰ったそうである。自分の公式文書それぞれに異なる名前(誕生名)を記載出来るカナダでは起こり得ない出来事だと言っていた。

パスポート、運転免許証、氏名が異なるのに同一人物？

日本社会の一般常識では考えられないことが英語圏の常識というほんの一つの例を提示したまでである。本稿筆者として参考になれば幸いである。

Appendix 1

1994 US Census most popular female names (Top 50)

Name	Frequency	Cumulative Frequency	Rank
MARY	2.629	2.629	1
PATRICIA	1.073	3.702	2
LINDA	1.035	4.736	3
BARBARA	0.980	5.716	4
ELIZABETH	0.937	6.653	5
JENNIFER	0.932	7.586	6
MARIA	0.828	8.414	7
SUSAN	0.794	9.209	8
MARGARET	0.768	9.976	9
DOROTHY	0.727	10.703	10
LISA	0.704	11.407	11
NANCY	0.669	12.075	12
KAREN	0.667	12.742	13
BETTY	0.666	13.408	14
HELEN	0.663	14.071	15
SANDRA	0.629	14.700	16
DONNA	0.583	15.282	17
CAROL	0.565	15.848	18
RUTH	0.562	16.410	19
SHARON	0.522	16.932	20
MICHELLE	0.519	17.451	21
LAURA	0.510	17.961	22
SARAH	0.508	18.469	23
KIMBERLY	0.504	18.973	24
DEBORAH	0.494	19.467	25
JESSICA	0.490	19.958	26
SHIRLEY	0.482	20.439	27
CYNTHIA	0.469	20.908	28
MELISSA	0.462	21.839	30
BRENDA	0.455	22.293	31
AMY	0.451	22.745	32
ANNA	0.440	23.185	33
REBECCA	0.430	23.615	34
VIRGINIA	0.430	24.044	35
KATHLEEN	0.424	24.468	36
MARTHA	0.412	25.297	38
DEBRA	0.408	25.704	39
AMANDA	0.404	26.108	40
STEPHANIE	0.400	26.508	41
CAROLYN	0.385	26.893	42
CHRISTINE	0.382	27.275	43
MARIE	0.379	27.655	44
JANET	0.379	28.034	45
CATHERINE	0.373	28.408	46
FRANCES	0.370	28.777	47
ANN	0.364	29.141	48
JOYCE	0.364	29.505	49
DIANE	0.359	29.864	50

Source: <http://www.census.gov/genealogy/names/dist.female.first>

パスポート、運転免許証、氏名が異なるのに同一人物？

Appendix 2

1994 US Census most popular male names (Top 50)

Name	Frequency	Cumulative Frequency	Rank
JAMES	3.318	3.318	1
JOHN	3.271	6.589	2
ROBERT	3.143	9.732	3
MICHAEL	2.629	12.361	4
WILLIAM	2.451	14.812	5
DAVID	2.363	17.176	6
RICHARD	1.703	18.878	7
CHARLES	1.523	20.401	8
JOSEPH	1.404	21.805	9
THOMAS	1.380	23.185	10
CHRISTOPHER	1.035	24.220	11
DANIEL	0.974	25.194	12
PAUL	0.948	26.142	13
MARK	0.938	27.081	14
DONALD	0.931	28.012	15
GEORGE	0.927	28.939	16
KENNETH	0.826	29.766	17
STEVEN	0.780	30.546	18
EDWARD	0.779	31.325	19
BRIAN	0.736	32.061	20
RONALD	0.725	32.787	21
ANTHONY	0.721	33.508	22
KEVIN	0.671	34.179	23
JASON	0.660	34.839	24
MATTHEW	0.657	35.496	25
GARY	0.650	36.147	26
TIMOTHY	0.640	36.786	27
JOSE	0.613	37.399	28
FRANK	0.581	39.169	31
SCOTT	0.546	39.715	32
ERIC	0.544	40.259	33
STEPHEN	0.540	40.799	34
ANDREW	0.537	41.335	35
RAYMOND	0.488	41.824	36
GREGORY	0.441	42.265	37
JOSHUA	0.435	42.700	38
JERRY	0.432	43.132	39
DENNIS	0.415	43.547	40
WALTER	0.399	43.946	41
PATRICK	0.389	44.335	42
PETER	0.381	44.716	43
HAROLD	0.371	45.087	44
DOUGLAS	0.367	45.454	45
HENRY	0.365	45.819	46
CARL	0.346	46.165	47
ARTHUR	0.335	46.500	48
RYAN	0.328	46.828	49
ROGER	0.322	47.150	50

Source: <http://www.census.gov/genealogy/names/dist.male.first>

References

- Aljohani, A. & Al-Ghamdi, T. (2003). *How Does Literature Work?* Retrieved from:
<http://www.ksu.edu.sa/colleges/art/eng/461-Eng/On%20the%20Uses%20of%20Studying%20Literature.htm>
- Benjamin Harrison. (n.d.). Retrieved from: <http://www.whitehouse.gov/about/presidents/benjaminharrison>
- Bloom, A. (Director). (1983). *The CBS Evening News with Dan Rather*. (Television Series). New York. Columbia Broadcasting System.
- Campbell, Michael D. (n.d.). *Behind the Name: the Etymology and History of First Names*. Retrieved from:
http://www.behindthename.com/glossary/view/japanese_names
- Clancy, T. (1994). *Debt of Honor*. New York. Berkley Publishing.
- Clancy, T. (1996). *Executive Orders*. New York. Berkley Publishing.
- Clancy, T. (2000). *The Bear and The Dragon*. New York. Berkley Publishing.
- Cosby Hit with Sex Assault Suit*. (2005). Retrieved from:
<http://www.thesmokinggun.com/documents/crime/cosby-hit-sex-assault-suit>
- Horovitz, L.J. (Director) & Gazzale, B. (Writer). (2003). *AFI Life Achievement Award: A Tribute to Robert De Niro*. [Television Broadcast]. USA
- Harrison, B. (n.d.). Retrieved from: <http://www.whitehouse.gov/about/presidents/benjaminharrison>
- James Carter. (n.d.). Retrieved from: <http://www.whitehouse.gov/about/presidents/jimmycarter>
- Japanese Names*. (n.d.). Retrieved from: http://www.behindthename.com/glossary/view/japanese_names
- Life of John F. Kennedy*. (n.d.). Retrieved from: <http://www.jfklibrary.org/JFK/Life-of-John-F-Kennedy.aspx>